

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
 「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



広報誌

よりそ^う

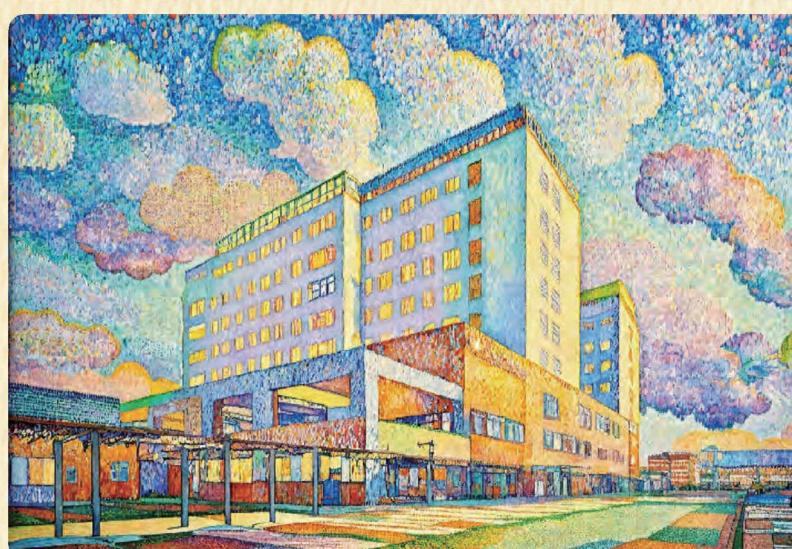
vol. 47

**医療法人
徳洲会の理念**

“生命を安心して預けられる病院”
 “健康と生活を守る病院”

徳洲会グループは
 「生命だけは平等だ」の理念の下、
 「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を目指しています。

いつでも、どこでも、誰でもが、
**最善の医療を受けられる
社会を目指して**



仙台徳洲会病院 看護部



広報ブログ



第61回献血運動推進全国大会にて、 仙台徳洲会病院が日本赤十字社銀色有功章を授与

2025年7月、仙台サンプラザホールで開催された第61回献血運動推進全国大会において、仙台徳洲会病院が日本赤十字社より「銀色有功章」を授与されました。

この章は、長年にわたり地域に根ざした献血推進活動に尽力し、献血の普及と定着に顕著な功績を挙げた医療機関に贈られる名誉ある表彰です。

当院では、地域住民との連携を重視し、定期的な献血キャンペーンを継続的に実施してまいりました。特に、医療資源が限られる地域において、安定した血液供給体制の構築に貢献した点が高く評価されたものです。

本大会には、全国の献血推進団体や医療関係者が一堂に会し、献血活動の現状や課題、今後の展望について活発な意見交換が行われました。



● 献血の基本豆知識

血液は人工的に作れない

科学技術が進歩しても、輸血用の血液は人工的に製造できず、保存期間も限られています。そのため、献血は常に必要とされています。特にO型は需要が高く、医療機関からの要請が多いとされています。

血液量と献血量の関係

人間の血液量は体重の約13分の1。献血で提供する量（200mLや400mL）は医学的に安全で、失われた水分は数時間で回復します。赤血球は約2～3週間で回復するなど、成分ごとに回復速度が異なります。

献血の種類

全血献血：血液すべてを提供（200mL・400mL）。

成分献血：血漿や血小板など特定成分のみを採血し、残りは体に戻す方法。

冬場は献血者が減少

体調不良で献血できない人が増えるため、毎年1～2月に「はたちの献血キャンペーン」が行われます。

血液の役割と寿命

赤血球：酸素を運び、寿命は約120日。

白血球：免疫を担い、外敵から体を守る。

血小板：出血を止める働き。寿命は数日程度。



卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定取得による 研修環境のさらなる充実と医師育成への取り組み

当院は、NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）の第三者評価を受審し、2025年6月1日付で認定を取得しました。JCEPは、臨床研修病院の研修プログラムの評価や人材育成を目的とする機関であり、国民に対する医療の質の向上を目指しています。

多様な診療科を有する医療機関として、幅広い研修環境を提供し、専門医療と一般診療の両面で研修の充実を図っています。指導医の協力のもと、研修医が外来・病棟で診療を行いながら、包括的な医療の知識と技術を習得できる体制を整えています。

厚生労働省指定の基幹型臨床研修病院として、医師養成の責任を担い、より良い医療人の育成に尽力してまいります。今後も研修環境の強化を図り、総合的な診療能力を備えた医師の育成に努めていく所存です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



△ 臨床研修指定病院とは

当院は平成15年4月に、医師法第16条に基づき厚生労働省より指定された基幹型臨床研修指定病院です。基幹型臨床研修指定病院とは、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師（研修医）が卒後2年間、基本的な手技、知識（初期研修）を身につけるために経験を積む病院であり、臨床研修医（臨床研修中の医師）が皆様の診療に携わることがございますが、趣旨をご理解下さいますようお願い申し上げます。

△ 基幹型臨床研修病院の役割

当院は、初期研修医を受け入れてあり、臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、患者さまに対して、安心でより質の高い医療を行える医師を育成してまいります。

基幹型臨床研修病院の責務として、地域における中核的医療機関として更なる充実に努めて参ります。

手洗い推奨バッジ用い

感染対策の意識向上へ



仙台徳洲会病院では、手指衛生遵守率の高かった職員へオリジナルバッジを贈呈する取り組みを行っています。これは視覚的な報奨制度を通じて意識の底上げを図るのが目的で、同時に患者さんにも同院の衛生管理の徹底を伝える手段として位置付けています。

初年度は医師を対象に実施。感染管理認定看護師とリンクナースが直接観察を行い、遵守率の高かった上位5人にバッジを授与しました。現在は対象を全職員に拡大し、部署ごとの手指消毒剤使用量上位者にバッジを贈る形へと変更。表彰を職員の前で所属長が行うことで、全体の意識向上にもつなげています。また、患者さん1人当たりの手指消毒剤使用回数は、23年度の目標である12回を達成し、24年度以降は15回に引き上げました。

「頑張ったら目に見えて評価される仕組みが、モチベーションにつながっていると思います。ゆくゆくは、ほとんどの職員がバッジを付けているようになってほしいです。また、患者さんへ同院の取り組みを周知するために、バッジの意義を伝える掲示物を整備する必要もあります」と力を込めるのは岩田妃呂子・看護副主任。

さらに、 笹木英恵・看護主任は「ICN（国際看護師協会）直接観察による評価には限界があり、今後は評価者の質を高める体制づくりが課題です。『正しいタイミングで手指衛生が行えているか』を評価できるよう、リンクナースの育成が必要であると考えます」と展望を語りました。

同院では、患者さんや地域の方々に、手指衛生の重要性を啓発するための活動も継続。今年は7月9日に院内にブースを構え、螢光ローションを使用した手洗いイベントなどを行いました。





第30回 国際車いすテニス大会「SENDAI OPEN 2025」



救護応援を終えて

6月19日（木）～6月22日（日）に仙台市総合運動場シェルコム仙台で第30回 国際車いすテニス大会「仙台オープン2025」の救護活動に従事しました。今大会には、同院職員が運営のひとりとして関わっている事もあり、救護という形で病院をあげてサポートをしています。

国際大会とあって、他国の選手も参加し、車いすに乗っている事を感じさせない俊敏な動きでプレーをする選手達。病院の車いすとは違ったそれぞれに合った特殊仕様とはいえ、自分の足のように操作するのは至難の技。車いすをしっかりと操作しながら激しく打ち合う姿からは、練習に打ち込んでいる日々の努力が垣間見れました。試合の合間にパラリンピックの正式種目「ボッチャ」も教えて頂いて、楽しい1日となりました。



第43回 泉区民ふるさとまつり

会場は家族連れや小さなあそぶ様も多く、救護所では、軽度の熱中症や擦り傷などの対応が数件ありました。いずれも迅速に処置でき、安心していただけた様子に安堵しました。

また、地域ボランティアや救急隊、警察との連携も円滑で、顔の見える関係性が災害時にも活きると改めて感じました。

今後も、地域行事への積極的な関与を通じて、住民との信頼関係を築き、持続可能な医療体制の一助となれるよう努めていきたいと思います。



施設紹介

日帰り手術センター



手術の当日に来院して、当日または翌日の午前中に帰宅できる手術（日帰り手術）の手続きを受け付けており、術後にゆっくりと休んでいただけるリカバリールームを備えています。

透析室



15床から30床に増床し、これまでより多くの透析患者さまの受け入れが可能となりました。また、新システムを導入し安全性を確保することで安心して透析ができるよう環境を整えてあります。

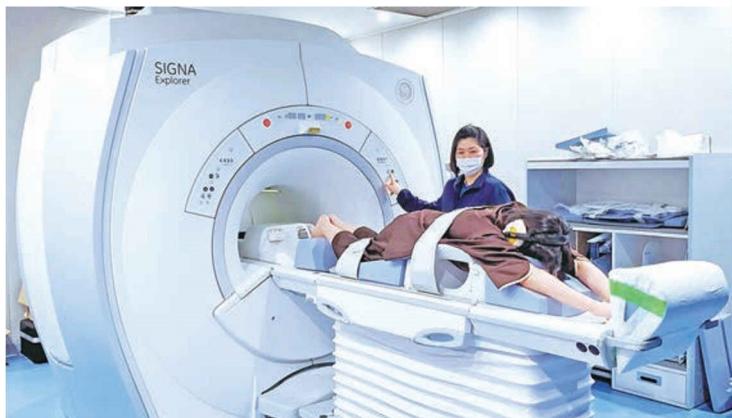
化学療法室



2面採光の非常に明るい作りとなってあります。電動リクライニングチェア7床、ベッド3床の計10床で、看護師が常駐するカウンターを囲むように配置されており、患者さまは希望するところで快適に安心して治療を受けることが出来ます。

予防医学センター

病気をみつける健診から健康をみる健診へというコンセプトで病気の早期発見だけでなく、健康の状態をみる種々のオプション検査、並びに抗加齢ドックなどを準備し病気になる前の段階からの介入を行っております。



無痛MRI乳がん検診のような、最新の医療機器を用いた、患者様のお身体に負担の少ない検査もご提案しております。

病棟

新病院ではセル看護提供方式を行い、患者さまの近くで看護実践を行います。タイムリーな観察・対応、コミュニケーションを図り、安心・安全な看護を提供します。当院の看護部理念である「心に届く看護を実践する」を目指します。



ヘリポート

病院で新たに設置した屋上ヘリポートからの救急搬送にも対応し、救急医療体制を更に強化していきます。



安心・安全な医療を"地域"に届ける



医療講演会

開催してみませんか?

PTA 自治会 職場 サークル

目的に合った医療講演が開催でき、皆さまからのご質問もお受けいたします。講師派遣料や開催に要する費用はございませんので、地域の皆さまの病気の予防や健康増進のために、お気軽にご相談ください。



お問い合わせは、右記QRコードからご入力頂く方法と、メールやFAXなどでお気軽にお問い合わせ下さい。団体名(開催日時(予定でも可))、開催場所、聞いてみたいテーマ等をお通り頂ければ、対応可能な講師をご案内致します。

※講演に必要な機材は、全てこちらで準備致します。



定期的に健康講座を主催される企業団体様からの
講師派遣依頼も承っております。

仙台徳洲会病院主催

PC・スマホで見る

医療講演のお知らせ

主な講演テーマ

お薬の正しい付き合い方

お口の病気あれこれ

小児の予防接種

無痛MRI乳がん検診

大腸がん

～ダヴィンチ手術～

低線量肺がんCT

口腔乾燥症 etc...

逆流性食道炎

下肢静脈瘤の最新治療

甲状腺の病気

白内障

通所リハビリ

～楽しむ健康体操～

新たに開設・肝臓内科

肝臓がん治療とは



※オンライン講演は無料で視聴できますが、通信費用は参加者様のご負担となります。

お問い合わせ

仙台徳洲会病院 地域連携室

担当者tel. 070-6496-7346 受付時間:月～金10:00～17:00

tel.022-771-5134 fax.022-771-5135



検診で予防、健康を維持する

脳の萎縮は40代が分岐点

プレミアム
脳ドック
受付開始

数値化

可視化

平均比較

経年観察

普段知ることのできない脳の状態を同世代と
比較するレポートを作成します。

経年変化を見ることで、脳の健康に良い
生活・行動への意識を高めましょう。

当院ではMRIを用いた乳がん検診
「ドライブス・サーチ」をはじめました。



無痛MRI 乳がん検診の特長



痛くない



見られない



被ばくがゼロ
だから安心

WEBでの簡単予約は、コチラから▶



医療法人徳洲会

仙台徳洲会病院 予防医学センター(ドック・健診)

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8

tel.022-771-5117 fax.022-771-5118